

2024年 新年のごあいさつ

町民まんなか元年へ

大磯町長

池田 東一郎



新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、皆様からのご期待にお応えすべく、学校給食費の無償化や子ども医療費助成の対象年齢を18歳まで引き上げ、学校や子育てが「わくわく」するような取組みを行いました。

また、夏の花火をウイークリー開催として復活し、新たなイベントとしてウオーターバトルや海辺の映画館なども開催し、町内には、コロナ禍以前にも増して町民の皆様のお元氣そうな笑顔が溢れていたと思います。

今年も、昨年の「人口減少対策元年」につながる「町民まんなか元年」となるよう町民の皆様との対話を大切にしながら、さらに様々な事業を進めてまいります。

子どもは「こどもまんなか」「子育てするなら大磯」と感じていただける取組みをさらに進めます。

お年寄りには「お年寄りまんなか」。高齢者の方々が「はつらつ」と暮らしていただき、「住めば健康大磯」と感じていただける取組みも町内に広げていきます。

辰年にちなんだ言葉として「飛竜乗雲」という言葉があります。時代の流れに乗って、人々が才能を発揮することのたとえだそうです。町民の皆様がそれぞれの道で大いに活躍され「わくわく」する1年となりますよう、町役場が一丸となって町民サービスの向上に努めてまいります。

町民の皆様の今年1年のご健康とご多幸をお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

町議会を一步前へ

大磯町議会議長

吉川 重雄



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。昨年7月の大磯町議会議員改選による新しい議員構成のもと、新しい議会がスタートしました。

新人議員やベテラン議員一人ひとりが、これからのまちづくりに向けて一歩二歩と前進しております。

町民の皆様のおいを、考えをしっかりと町へ伝え活動しています。

中でも、議会での一般質問は、議長を除く13人の議員が様々な角度より町に対して質問をしております。近隣の議会でも、これだけ多くの議員が一般質問をしている議会は聞いたことがありません。

町民より選ばれた議員が、いかに熱心であるかの証です。

これから四年間の時を経過すれば、町議会の前進していく姿が見えてくると確信しております。

今後も町民皆様のご意見をしっかりと拝聴しながら議員全員で様々な課題に向き合い、政策提言につなげてまいりますので、ご意見をお聞かせいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸をご祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。